



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する当社の取り組みにつきまして

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまには謹んでお見舞い申し上げますとともに、一刻も早いご回復を心よりお祈りいたします。

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中、当社にとっての最大の優先事項は、眼科治療薬を世界中の患者さんにお届けし続けることです。次に社会に貢献するライフサイエンス企業の一員として、ウイルス拡散に繋がる活動を自粛すること、そしてこのような非常事態においても、将来の眼科医療のイノベーションに向けた取り組みを継続することです。

これらを基本方針として、日本、中国、アジア、欧州、米国等、当社の世界各拠点において、それぞれの地域の規制やガイダンスに則り、以下の通り、最大限の策を講じております。

【日本を含む世界各拠点における対策】

➤ 製品の安定供給に関連する取り組み

- ・ 工場における安全確保（マスク・アルコール消毒等の衛生環境の整備、検温、従業員同士の適切な距離間隔確保の徹底）
- ・ 製品に関する、中間品および原材料などの在庫水準の維持
- ・ 製品製造に関わる内勤者については、テレワーク環境下で業務遂行できる環境を整備

➤ ウイルス拡散防止に向けた取り組み

- ・ 国を問わず、すべての海外出張を原則禁止
- ・ 国を問わず、すべての拠点における国内出張を原則禁止（事業への影響、対外的な必要性を検討し実施にあたっては上長の事前承認を得る）
- ・ 内勤者は原則テレワーク勤務（多くの国において、各国で法令による規制開始前に実施。中国は2月10日、アジアは2月11日、日本は2月25日、米国は3月9日、欧州は3月13日より）。なお、業務の都合によりテレワーク勤務が困難である場合や外出が必要となる場合は、上長に確認のうえ、時差通勤等により混雑を避けるなどの対応を行う
- ・ 日本はもちろん、欧州、米国を含む世界各拠点の社員に対し、マスク・ゴーグルなどの物資を提供（工場・研究所および外部と接触する社員に優先提供。順次内勤者含めた全社員に提供）
- ・ ウイルスから身を守るための基本的な方法等についての教育・周知徹底

➤ 眼科医療のイノベーションに向けた取り組み

- ・ 進行中の臨床試験、申請業務の継続に向けた安全確保と当局との話し合い
- ・ 研究所における安全確保（マスク・アルコール消毒等の衛生環境の整備、検温、従業員同士の適切な距離間隔確保の徹底）

- ・ テレワーク環境下で医療従事者への情報提供を実施する体制への移行

【その他】

- ・ 社長を委員長とした危機管理委員会を組織し、日本および世界各拠点の状況をモニターし、対応の検討・指示を実施(1月28日より)
- ・ 感染の拡大・長期化する事態を想定したパンデミックBCPを策定中
- ・ 中国の赤十字社へ100万人民币元(約1,600万円)相当の寄付を実施

なお中国においては、感染が拡大し始めた1月に迅速にテレワークへ移行し、出張・出社の禁止および工場における万全の対策により、現時点で感染者は確認されていません。2月10日から全面稼働を果たした蘇州工場では、蘇州市書記の訪問も受け、感謝の言葉を頂戴しております。また、中国国内での感染が収束しつつあることから、テレワークは継続しつつも段階的にオフィスへの出社を緩和する等、世界の各拠点において日々変わりゆく状況に応じ、迅速に対策を講じております。

当社は事業活動に支障をきたすことのないよう、引き続き製品の安定供給とウイルスの拡散防止に努めるとともに、これからも全社員一丸となって眼科のイノベーションに向けた取り組みを継続してまいります。

国際社会が新型コロナウイルスのアウトブレイクに一致団結して取り組み、解決の道筋を早期に見出すことを切に願っております。

2020年4月1日

参天製薬株式会社
代表取締役社長兼 CEO
谷内樹生

